



自衛隊栃木地方協力本部

馬頭高校防災教育

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 高井 1 陸尉）は 3 月 21 日（木）、馬頭高校において行われた防災教育を支援した。防災教育では、当初大田原地域事務所長より大規模災害における被害や自衛隊災害派遣についての講話が行われ、日頃の防災意識の大切さを説明した。次に緊急時の対応要領として大田原地域事務所、松尾 3 曹より救急法、止血要領など、身近な物を活用したライフハックを実施、更に東部方面特科連隊第 2 大隊（宇都宮）、中央即応連隊（宇都宮）の支援をうけ、災害時に実際に活動する車両として野外炊具 1 号や水トレーラをはじめ輸送防護車など 6 両を展示した。在校生だけでなく、自衛隊父兄会、馬頭東小学校も参加して、町全体で防災意識の高揚を図った。教育を受けた生徒の中には「1 年生の頃からこの教育を楽しみにしていた。緊急時自分に何ができるかイメージがついた」と話す生徒もいた。

大田原地域事務所は「今後も、防災教育を実施し、更なる自衛隊の理解促進に努めたい」と話している。



車両展示の様子



車両展示を楽しむ参加者



記念撮影の様子

高等工科学校の学生と入校予定者の 4 者面談

自衛隊栃木地方協力本部足利地域事務所（所長 本村 1 空尉）は、3 月 27 日（水）、足利地域事務所において「高等工科学校の学生と入校予定者の 4 者面談」を行った。

この面談は、足利地域事務所から高等工科学校に入校した学生が帰省するタイミングで計画され、高工校学生（小島陽成学生）とその保護者、入校予定者とその保護者の 4 名が面談し、入校予定者の不安や疑問を払拭するために行われた。面談では、生活から訓練、外出や帰省に関する話題で 1 時間 30 分にわたって盛り上がった。保護者からは「洗面用具はどんな形で持たせたらいいですか?」「休みはいつ取れるんですか?」などの質問があり、入校予定者からは「学校生活はどのくらいで慣れますか?」「時間割はどんな感じなんです?」「など、学校生活の様子や外出について特に気になる質問がなされた。質疑応答を通じて情報共有をすることで、高等工科学校の生活のイメージができ、入校予定者親子とも安心した表情を浮かべながら帰路についた。

足利地域事務所は「今後も、入隊・入校者と継続的に交流し、情報共有することで、入校予定者が安心してできるような活動をしていきたい」と話している。



左：小島学生 右：入校予定者



面談の様子